

(社) 日本建築学会 近畿支部
2018 年度第 2 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2018 年 12 月 25 日 (火) 16:00-18:00

場所：大阪大学中之島センター405 室

出席者：東 (実)，袁，河野，小林 (幹事)，近藤，崔，檜崎，平松，松尾，光野，山中 (主査)，
吉田，李，竹村 (記録) (敬称略)

資料：・議事次第	資料 2-0
・第 1 回議事録	資料 2-1
・我が国における建物の自然換気及び通風に関する研究の 130 年の歴史 (小林)	資料 2-2
・日本の換気研究の歴史レビュー (小林)	資料 2-3
・PAC を用いた膜天井放射空調の冷房性能に関する実験的研究 (山中)	資料 2-4

議事：

1. SHASE-S102 の動向

山中主査から、標記が紹介された。CO₂ の設計用基準値を 1000ppm から外気濃度+700ppm に変更する点が紹介され、その狙いや予想される今後の動向などが議論された。

2. 話題提供

- ・小林幹事から、建築学会論文集をベースに「日本の換気研究の歴史レビュー」と題して自然換気・通風研究のはじまりと理論確立から現代に至る流れについて紹介があった。ペッテンコーフェルの提唱した説や計画原論の最初の教科書のことなど、自然換気・通風を中心とした研究動向の成り立ちについて幅広く議論された。

3. その他

- ・建築学会近畿支部への賛助・法人会員加入のお願いが日本カノマックスになされることになった。山中主査から同社会長にお願いする。
- ・19 年度 9 月の空気環境シンポジウムの内容が「建築環境工学から考える BIM の可能性」であることが紹介された。
- ・部会のテーマが継続審議された。19 年度末のシンポジウムとしては、最新の研究動向を室内外環境など含めて幅広く紹介するような内容で進めてはどうかという意見があった。
⇒次回部会にて、近藤先生に保水性舗装やストリートキャニオンの空気質環境など ICFEE での講演内容を紹介頂くことになった。
可能であれば、吉田先生にも再帰反射のご研究をご紹介頂くようお願いする。

4. 次回日程

日時：2019 年 3 月 8 日 (金) 16:00-19:00

以上